※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)実用国語	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	2028 年度版　一般常識と時事問題をひとつひとつわかりやすく(学研出版) 国語常識の演習と整理　プライム常用国語(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・入試や就職試験で必要とされる国語常識が身に付きます。
・実際に使う、役立つ国語を学びたい人のための科目です。

2　学習の到達目標

・問題演習形式での学習を通して、語句の意味や用法を理解することで語感を磨き語彙を豊かにすることができる。また、手紙の書き方や敬語の知識をはじめとする一般常識スキルを伸ばす。【知】
・面接練習やグループワークを通して、物事の見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【思】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、国語に親しみ、我が国の文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。【主】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活や進路実現に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」の領域において、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自己の考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、考えを深めたりしながら、専門的な言語を習得し、効果的に考えを伝えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	時事問題 一般常識と時事問題	a:社会的事象(時事問題)に興味関心を持ち，正確に理解できる。 b[話]:社会的事象(時事問題)の本質をとらえ，情報の洪水に流されず，問題解決のために重要で信頼のおける情報を選び出し，覚えて，他人にわかりやすく説明できる。	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート
	漢字検4級レベルまでの漢字、慣用表現、ことわざ、故事成語 プライム常用国語	a:漢字検定3級レベルまでの漢字・語彙を知っている。 b[書]:漢字検定4級レベルまでの漢字・語彙を理解し、適切に使うことができる。 c:漢字検定4級レベルまでの漢字・語彙を理解し、適切に使おうとしている。	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート
二学期	時事問題の考察 一般常識と時事問題	b[聞][書]: 他者の考えを尊重し，その違いを認め合いながら，互いの理解を深め，「合意」を形成できる。(歩み寄り，社会的事象(時事問題)の解決に到達できる。)	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート
	漢字検定3級レベルまでの漢字、三字熟語、四字熟語 プライム常用国語	a:漢字検定3級レベルまでの漢字・語彙を知っている。 b[書]:漢字検定3級レベルまでの漢字・語彙を理解し、適切に使うことができる。 c:漢字検定3級レベルまでの漢字・語彙を理解し、適切に使おうとしている。	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート
三学期	時事問題について話し合う 一般常識と時事問題	a:取り扱う題材を深く理解して処理できる、課題を見出す力を養えている。 b[聞][書]:根拠に基づいた明確な主張ができている。感情論ではなく、データや事実をもとに論理的に意見を展開できることができる。 c:協調性:他者の意見を尊重し、建設的な議論を進められる。一方的に自分の意見を押し通すのではなく、グループ全体の議論を深める姿勢がある。	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート
	難読語、名言、時事用語 プライム常用国語	a:社会で必要となる難読語、名言、時事用語を知っている。 b[書]:社会で必要となる難読語、名言、時事用語を適切に使うことができる。 c:社会で必要となる難読語、名言、時事用語を適切に使おうとしている。	提出物 小テスト	提出物 小テスト 活動 (発表等)	提出物 観察 活動(発表等) 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１５　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間